

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	産業経済部	林 孝之

1 部の経営方針 (部全体を俯瞰したマネジメントの目標)

No	項目 (業務、組織、人材等に関するマネジメント目標)
1	本市の産業に携わる様々な関係者との共創のもと、宇部市産業振興計画及び宇部市農林水産業振興計画に基づき、未来に向けた戦略的産業振興に取り組む。
2	成長産業の更なる創出・育成に取り組むとともに、企業誘致の促進と県が整備を予定している新たな産業団地の誘致に取り組む。また、中小企業等の人材確保やDX、競争力の強化に向けた取組の支援を行うことで、経営基盤の強化を図り、「強い産業」を次代につなげていく。
3	農林水産業におけるブランド力の強化や先進技術の活用など戦略的な取組を進め、多様な担い手の確保・育成、宇部の食の魅力発信、地産地消の促進、販路拡大、生産力の強化を推進することで、「強く稼ぐ農林水産業」を次代につなげていく。
4	積極的な情報発信を行うとともに、多様な関係者の声を聴取し、共有することを業務プロセスに根付かせ、庁内・庁外との「連携・共創」により施策効果を高めていく。
5	職員が責任と主体性をもって全力で職務を遂行し、プライベートもしっかりと楽しむことができる職場風土を醸成する。
人財育成・内部統制	過去の慣習や体制にとらわれず、未来を見据え、情熱を持って前向きにチャレンジする職員の育成に取り組む。 内部統制の推進に向けた各職階における役割の認識とその着実な実行を図ることで、凡事徹底を実践する職場風土を醸成する。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	産業政策課	野村康雄

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

宇部市産業振興計画に基づき、「次世代へつながる活力に満ちた強い産業のまち」を目指して、新産業の創出や、地元企業の経営力強化と事業継続、本市産業を支える多様な人材の確保・育成等に産学公金が連携して取り組む。
また、宇部港港湾計画に沿った港湾整備事業(国・県事業)の促進及び宇部港の利活用に取り組むとともに、カーボンニュートラルの実現に向け、カーボンニュートラルコンビナート(CNC)・ポート(CNP)の形成をはじめ、中小企業等の脱炭素化に向けた取組を支援する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	「人材確保ワンストップ相談窓口」を中心に、関係機関や行政等がそれぞれの強みを活かして一体的な支援に取り組むことにより、多様な人材の確保や活用が図られる。	総合戦略	新規に人材確保ができた企業数(社)【累計】	R8年度 45社	-	35社	未来2
2	社会経済環境が変化する中、市内中小企業が安定的に成長し、持続可能な事業を営むための基盤が強化される。	前期実計(重点)	事業継続・承継に取り組んだ企業数(社)【累計】	R8年度 40社	41社	32社	-
3	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、官民一体となって地域脱炭素の推進に取り組み、環境に配慮した持続可能な産業が構築される。	その他	脱炭素に取り組んだ市内中小企業等の件数(件)【累計】	R7年度 117件	6件	117件	未来2
人財育成・内部統制	<ul style="list-style-type: none"> ●一つ一つの事案に対して根拠となる法令や要綱等を確認・理解することを意識させ、前例踏襲せず、他課等の類似案件等も参考にして、現状に応じて適切かつ効果的な考えを導き出せる人材を育成する。 ●人材育成の観点を踏まえながら、職階に応じた適正な業務処理の対応を徹底する。 	-	-	-	-	-	-

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	企業立地推進課	浜野 直人

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

最大の課題である人口減少に対応し、本市が持続的発展を遂げていくため、県との連携による企業誘致を推進することで、次代を担う魅力的な多様な雇用の場を創出し、「次世代につながる活力に満ちた強い産業のまちづくり」を進めていく。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活性化 ・企業誘致等による魅力的な雇用の場を創出 	前期実計(重点)	起業創業や事業所等誘致による雇用創出人数(人) 【累計】	R8年度 120人	176人	200人	未来2
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活性化 ・新たな企業進出や既存企業の事業拡大等を促進 	その他	企業誘致等件数(件)	R7年度 4件	2件	4件	未来2
人財育成・内部統制	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に常にアンテナを張り、情報を収集するとともに、継続的に能力や専門性を高め、職務に従事できる人財を育てる。 ・職員が各職階における役割について認識し、適切にチェック等の取組を進め、内部統制を推進する。 						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	成長産業創出課	中角直人

1 課の使命

<p>どのような責務を負っているか、存在理由</p> <p>・産学公金の連携による「宇部市成長産業推進協議会」を核とし、産業集積や大学等の高等教育機関、試験研究機関の立地など、本市の持つ高いポテンシャルを活かしながら、成長産業分野での研究開発を加速化させ、研究開発シーズを活用した起業や事業化を進めるほか、市内企業のDX化を支援して「稼ぐ力」の向上を図り、市内企業が成長産業分野へ参入しやすい状況を作り出すことなどを通じて、将来に期待の持てる産業へ変革させることにより、地域経済の活性化及び若者にとって魅力のある雇用の創出を図る。</p> <p>・起業やスタートアップに興味を持つ若者や大学等の研究者をはじめ、市内企業や支援機関等の多様な主体が参画するコミュニティを形成し、起業機運の醸成や起業のための情報共有のほか、若者のビジネス人材としてのスキルアップや市内企業とのつながりの創出を図ることで、起業・新規事業の創出や、若者の地元への定着、市内企業等によるオープンイノベーションの創出を図る。</p>

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	研究開発プロジェクトの進捗による起業や事業化により、産業の集積や雇用の創出、地域経済の活性化が図られる。	前期実計(重点)	成長産業の起業・事業化件数(件)【累計】	R8年度 5件	4件	5件	未来2
2	起業コミュニティの取組により、起業・新規事業の創出や、市内企業等によるオープンイノベーションの創出が図られる。	総合戦略	起業コミュニティへの年間参加者数(人)	R8年度 50人	-	50人	未来2
3	起業コミュニティや山大・高専と連携した取組により、若者のビジネス人材としてのスキルアップや若者の地元への定着が図られる。	総合戦略	地域イノベーション人材の地元就職者数(人)【累計】	R8年度 3人	-	1人	未来2
4	市内企業のDX化を支援することで、企業が新しいことに挑戦するための人材や資金の余裕を生み出し、市内企業の成長産業分野への参入が図られる。	総合戦略	DXの取組件数(件)【累計】	R8年度 10件	-	5件	未来2
人財育成・内部統制	<p>・課としての業務を通じ、部や課の枠にとらわれず、市全体で、「共創」の視点を踏まえ、市民や関係する地域資源等と共に地域課題の解決を導ける人材の育成を目指す。</p> <p>・市民から信頼される行政を目指し、適正な業務処理を徹底するとともに、公務員として適切な行動を徹底していく。</p>	-	-	-	-	-	-

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	農業振興課	岡本賢一郎

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

認定農業者や新規就農者、農業参入企業等、次世代へ繋ぐ多様な担い手の確保・育成を図るとともに、農地の集積・集約化を推進する。農作物の生産性の向上、農作業の省力・効率化に向け、ICT・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の促進と市場のニーズを捉えた収益性の高い農産物への転換を進め、第五次総合計画と農林水産業振興計画に掲げる「強くて稼げる農林水産業の振興」を目指す。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	所得向上・規模拡大を図る意欲ある農業者が増えることで、持続可能な強くて稼げる農業を実現する。	前期実計(重点)	新規認定農業者数(人) 【累計】	R8年度 102人	102人	105人	—
2	生産効率性と収益性の高い農産物への転換が進むことで、持続可能な強くて稼げる農業を実現する。	前期実計(重点)	市場ニーズを捉えた農産物の生産量(トン)【累計】	R8年度 310トン	203トン	265トン	未来2
3	多様な担い手に農地を集積し、効率的な生産・安定供給が進むことで、持続可能な強くて稼げる農業を実現する。	前期実計	多様な担い手による農地の集積面積(ha)【累計】	R8年度 210ha	132.1ha	174ha	—
4	農作業の省力・効率性を上げ、生産力を強化することで、品質や生産性・収益性の高い、持続可能な強くて稼げる農業が実現できる。	個別計画(宇部市農林水産業振興計画)	スマート農業の取組に対する支援制度活用件数(件) 【累計】	R8年度 40件	28件	36件	未来2
5	地元1次産品の需要拡大と地産地消を推進することで、持続可能な強くて稼げる農業を実現する。	個別計画(宇部市農林水産業振興計画)	地産地消推進拠点数(件) 【累計】	R8年度 15件	1件	4件	—
人財育成・内部統制	市職員として必要不可欠なルールを理解や知識の習得のため、各種研修の受講や、OJT、自己啓発を行うことにより個人のスキルアップを図る。また、報告・連絡・相談を徹底し、風通しの良い職場環境づくりを行う。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	農林整備課	元井 繁樹

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

強く稼げる持続可能な農林業の振興のため、農業基盤・中山間地域の環境整備を進める。
 農業基盤の整備については、有害鳥獣による農産物等への被害を抑制するため、捕獲活動や侵入防止柵等の設置による鳥獣被害防止対策を推進する。また、農業用施設の整備・維持管理を推進し、農作業の環境整備を行うとともに、ため池決壊等による被害の発生を防ぐ。
 次に、中山間地域の環境整備については、森林の水源涵養・土砂流出防備などの公益的機能が十分に発揮されるよう、森林環境譲与税等を活用し森林の保育や整備を行う。また、水環境を保全するため、農業集落排水施設・浄化槽の適切な維持管理を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	鳥獣の捕獲・農地の防護等の手段により、鳥獣による農産物被害額を抑制することで、営農意欲の維持が図られる。	前期実計	鳥獣による農産物被害額(円)	R8年度 27,320千円 以下	13,708千円	13,708千円 以下	—
2	私有林の整備を支援することにより、私有林の二酸化炭素吸収・国土保全・水源涵養などの公益的機能が十分に発揮される。	個別計画(宇部市農林水産業振興計画)	私有林整備面積(ha)【累計】	R8年度 30ha	14.8ha	22.5ha	—
3	クリーンセンターの機能を正常に保つことにより、本市の水道水源である公共水域の水質が良好に維持される。一方で、今後必要となる建屋やマンホール等の維持管理費について把握しておく必要がある。	個別計画(地域再生計画)	機器更新が完了したクリーンセンターの箇所数(箇所)【累計】	R7年度 3箇所	0箇所	3箇所	—
4	下流に保全する必要がある建物・施設が存在するため池を改修することにより、土砂災害のリスクが除去される。	個別計画(農業農村整備事業管理計画)	ため池の改修箇所数(箇所)【累計】	R13年度 3箇所	—	0箇所	—
人財育成・内部統制	研修について職員に参加を促すとともに、朝礼等を活用し情報共有することで風通しの良い職場づくりを行う。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	水産振興課	谷 信幸

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

漁業振興を図り、市民への安心・安全な水産物の提供に寄与するため、水産業の担い手の確保・育成、漁業資源の維持・増殖、水産物の販路拡大を推進するとともに、本市が管理する漁業生産基盤施設や漁港区域内の海岸環境を整備し、強く稼げる持続可能な水産業の実現に取り組む。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	うべ産水産物の魅力を発信することで、付加価値を向上させるとともに、消費の拡大につなげる。	個別計画(宇部市農林水産業振興計画)	うべ産水産物の年間取扱高(円)	R8年度 5.5億円	3.8億円	5.4億円	未来4
2	水産資源を持続的に利用することで、漁業経営の安定化を図る。	前期実計(重点)	1経営体当たりの年間漁獲量(トン)	R8年度 4.7トン	4.1トン	4.7トン	未来2
3	若くて意欲的な漁業者が増加することで、漁業経営の持続化を図る。	その他	新規研修開始者数(人) 【累計】	R8年度 2人	0人	1人	—
4	海岸高潮対策事業を実施することで、海岸背後地の津波や高潮による被害の防止を図る。	個別計画(山口県海岸保全基本計画)	床波漁港海岸保全施設の整備(事業費ベースの進捗率)	R8年度 51.7%	38.4%	40.6%	—
人財育成・内部統制	朝礼・終礼を行い、業務の進捗状況や時間外勤務の有無を確認し、情報共有を図るとともに、各種検診等の受診を促進し、心と体の健康を守ることで風通しの良い職場風土の醸成につなげる。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	卸売市場	石原貴裕

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

市場施設の整備及び市場における卸売、その他の取引の適正化と流通の円滑化を図ることにより、日々の市民生活に欠かせない生鮮食料品の流通拠点としての使命を果たす。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	地方卸売市場は竣工から50年以上が経過し、施設の老朽化や設備機能の低下も見られ、一方で、漁獲量や取扱量、取扱高の減少、多様化する消費者ニーズへの対応も必要となっている。それらを踏まえた市場の再整備により、将来的に合理的で持続可能な市場運営が図られる。	その他	市場再整備の実施	市場再整備の完了	基本構想たたき台の作成	基本構想策定及び再整備の方針決定	—
2	中央卸売市場は竣工から50年以上が経過し、施設の老朽化や設備機能の低下も見られ、一方で、取扱量や取扱高の減少、物流の変化への対応も必要となっている。それらを踏まえた市場の再整備により、将来的に合理的で持続可能な市場運営が図られる。	その他	市場再整備の実施	市場再整備の完了	耐震診断・基本設計業務の実施	再整備の方向性の決定	—
人財育成・内部統制	R7年度から直営とした地方卸売市場について、課内職員全員がすべての業務に携わることで業務内容を漏れなく把握し、卸売市場法や市条例に則った健全かつ適正な管理・運営を行う。						